

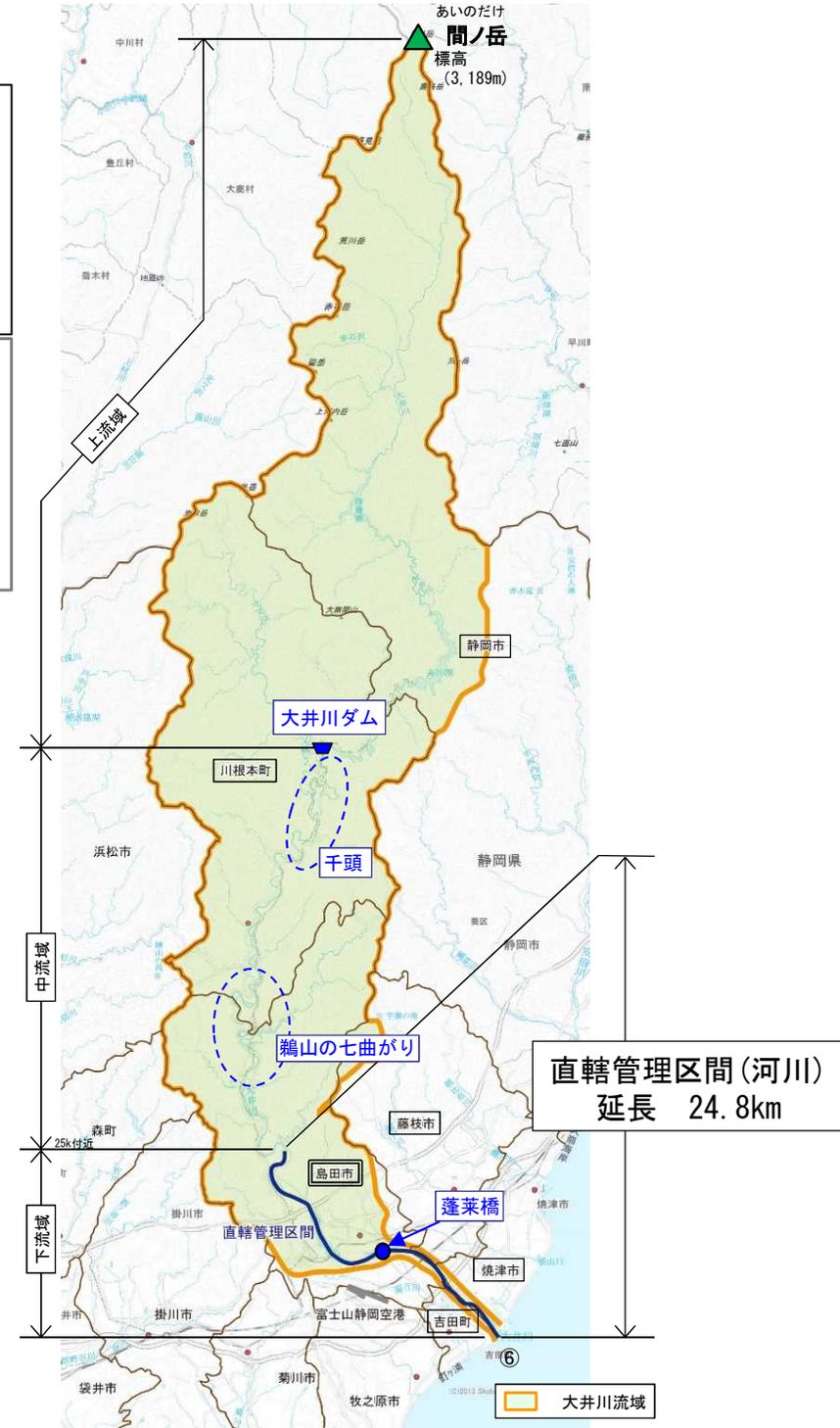
# 大井川総合水系環境整備事業

新規事業採択時評価 説明資料

## おおいがわ 大井川 流域の概要

● 大井川は、静岡県の中部に位置し、その源を静岡県、長野県、山梨県の3県境に位置する間ノ岳(標高3,189m)に発し、静岡県の中央部を南北に貫流しながら寸又川、笹間川等の支川を合わせ、島田市付近から広がる扇状地を抜け、その後、駿河湾に注ぐ、幹川流路延長168km、流域面積1,280km<sup>2</sup>の一級河川である。

- |         |                        |            |                      |
|---------|------------------------|------------|----------------------|
| ○水源     | : 間ノ岳(標高3,189m)        | ○想定氾濫区域面積  | : 131km <sup>2</sup> |
| ○流域面積   | : 1,280km <sup>2</sup> | ○想定氾濫区域内人口 | : 約30万人              |
| ○幹川流路延長 | : 168km                | ○想定氾濫区域内資産 | : 約4.4兆円             |
| ○流域内市町村 | : 4市2町                 |            |                      |
| ○流域内人口  | : 約9万人                 |            |                      |



### 上流域

【源流～大井川ダム】

豊かな自然環境や、河川景観に恵まれている



大井川ダム

### 中流域

【大井川ダム～扇頂部】

河岸段丘が形成され、蛇行地形となっている



千頭付近

### 下流域

【扇頂部～河口】

扇状地が広がり、地域の社会・経済・文化の基盤をなしている



蓬萊橋付近

大井川上流

鵜山の七曲がり

⑥大井川下流

直轄管理区間(河川)  
延長 24.8km

大井川流域

# 大井川（直轄管理区間）の概要

## 河川の概要（直轄管理区間）

- 直轄管理区間沿川は、江戸時代より新田開発が行われ、川越し制度により左岸の島田宿、および右岸の金谷宿（現在は島田市）が東海道の宿場町として発達し、経済・文化が栄えた。現在も、東名高速、新東名高速、東海道新幹線などわが国の根幹をなす交通の要となっている。
- 直轄管理区間上流部は高水敷がほとんどなく、山間部で紅葉など景色を楽しむ人や、釣り等で利用されている。
- 直轄管理区間中流部は市街地に隣接し、歴史的施設や運動公園等があり、観光、歴史探訪、スポーツ等で利用されている。また、「島田市大井川ミズベリング協議会」が設立され、水辺利用の促進施策が進められている。
- 直轄管理区間下流部は市街地に隣接し、高水敷に運動公園等グラウンドが多く整備されており、スポーツや市民の憩いの場所として利用されている。



## 河川環境をとりまく状況

- 大井川の河床勾配は下流域の直轄管理区間においても1/250程度と急であり、下流域は、砂礫河原に複列の網状の流路が形成され、砂州上にはコゴメヤナギ等の河畔林が繁茂し、砂礫河原に続く水辺には、サギ類、チドリ類などの鳥類が、瀬や淵にはアユやシマドジョウ等の魚類が、ワンド等にはトノサマガエル等の両生類が生息する環境が形成されている。
- 水質は、昭和40年代後半までは、パルプ工場等の排水による影響で悪化していたが、水質汚濁防止法による排水規制等により改善され、近年は生活環境の保全に関する環境基準を概ね満足している。



砂礫河原



イカルチドリ



アユ



大井川河口野鳥園



## 河川の利用状況

- 大井川の河川空間は周辺自治体の社会的要請に応え、公園・グラウンド等の施設が整備されており、流域内外の多くの人々に利用されている。
- 平成26年度の年間利用者数は約186万人（「河川水辺の国勢調査」推計値）となっており、高水敷におけるスポーツ利用が7割を占めているのが特徴的である。
- 人々の利活用のため、グラウンド等のほか、河口付近には河川公園と野鳥公園が一体となった「大井川河口野鳥園」が整備され、野鳥の営巣・休憩・採餌状況が観察されている。
- 河川敷に設置されている多目的河川敷道路は「リバティ」の愛称で親しまれ、平成21年度よりここを舞台に開催されている「しまだ大井川マラソン」は、全国から約9,400名の参加があり、地域のPRとなっている。
- 唄にも謳われた旧東海道の難所として名高い大井川は、川止めによって栄えた宿場町のまちなみも残り、河川敷に整備された「川越し広場」や「蓬莱橋」など、市民の生活の中で活用されている。



公園（ジャブジャブ池で遊戯利用）



多目的河川敷道路〔リバティ〕  
（マラソン大会）



多目的広場（スポーツで利用）



大井川河口野鳥園（観察施設より  
観察）



公園（休憩等に利用）



多目的広場（スポーツで利用）



川越し広場（レクリエーションで  
利用）



蓬莱橋（観光利用）

## 蓬萊橋付近の利用状況

- 大井川の蓬萊橋周辺地区は「蓬萊橋ぼんぼり祭り」、「観月会」、「新春蓬萊橋七福神祭」、「JRさわやかウォーキング」などのイベントが開催され、多くの人で賑わう。
- また、ギネス認定やテレビ、映画のロケ地になるなど、その名が広まるにつれ観光客が増加し、平成27年は約12万人が渡橋しており最近では外国からの観光客も多い。



蓬萊橋ぼんぼり祭り



映画のロケ状況



来訪者の駐車状況



試験物販

- また、蓬萊橋周辺では、イベントや地元物産の試験物販等の実施を通じて課題等が明らかになっている。
  - ・蓬萊橋は年間約12万人が訪れる観光スポットとなっているが、観光客が休憩するような利便施設が十分でない。
  - ・既に全国的に知名度は高いものの、物産等を提供する施設が無く、一時的な立寄り場所・通過地点となっている。
  - ・河川敷へ降りる階段やスロープはあるが傾斜が急であり、快適な利用のためには安全性の向上が必要である。
  - ・高水敷の広場は、一部以外は草が生い茂っており、イベント等で使用するためのまとまったオープンスペースが不足している。



番小屋前の状況（休憩施設等の不足）



階段、スロープの現状（傾斜が急）



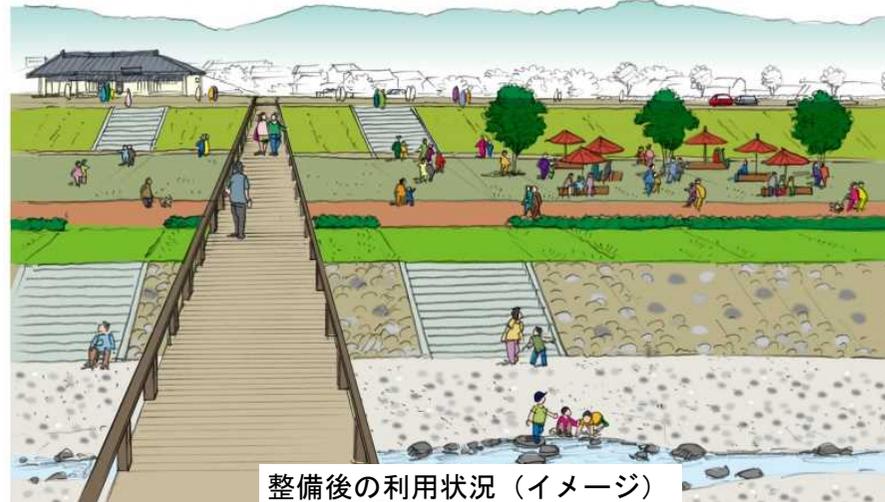
広場（高水敷）の現状（草等が繁茂）

## 大井川水系河川整備計画（平成23年10月策定）第3項 河川環境の整備と保全に関する事項 3 人と河川との豊かなふれあいの増進

→ 人と河川との豊かなふれあいの増進のため、河川本来の自然環境の保全・創出や周辺環境との調和を図ると共に、河川空間とまちの空間の融合が図られた良好な空間形成を目指す「かわまちづくり」に資する整備を実施する。

### 宝来地区「かわまちづくり」計画(平成29年3月7日登録)の概要 <かわまちづくりの概要>

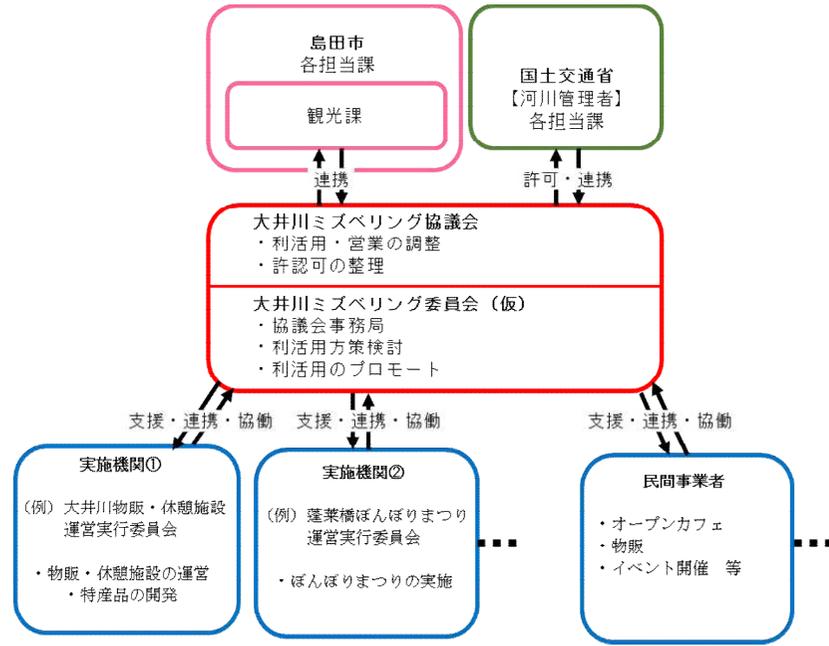
- ◆観光名所である蓬萊橋を活用したまちづくりと一体的に、歴史や景観に配慮しながら「観光・交流」「にぎわい」「憩いの場」を創出する。
- ・河川敷地占用許可準則の緩和規定等を活用し、物産展やオープンカフェ、イベントなどの開催により、地域を含めた流域の活性化を目指す。
- ・今後増加する来訪者に対応できる施設整備(番小屋・物販施設・休憩施設・トイレ、オープンスペースなど)を行う。



写真：淀川アーバンキャンブ2016  
 提供：大阪商工会議所

### <島田市大井川ミズベリング協議会の経緯>

蓬萊橋周辺地区をはじめとした島田市大井川の水辺空間の適正かつ公平な利用を確保し、市民の憩いの場、にぎわいの場を創出することを目的に、平成28年5月23日に「島田市大井川ミズベリング協議会」発足。  
 これまでに2回の部会と6回の協議会を開催し、都市・地域再生等利用区域の指定や、かわまちづくり計画について議論を重ね、かわまちづくり計画を作成。



かわまちづくり計画の事業スキーム（素案）

### <ミズベリング協議会の構成員>

委員区分	所属
地域関係団体	蓬萊橋周辺整備促進協議会
	島田市観光協会
	島田商工会議所
	島田市商工会
	(株)まちづくり島田
	島田市茶振興協会島田支部
行政団体	島田側(左岸)自治会代表
	初倉側(右岸)自治会代表
	島田市 産業観光部
	島田市 都市基盤部
	国土交通省静岡河川事務所

※地域の声を反映させるため、左記の協議会構成員の他、蓬萊橋ぼんぼり祭り実行委員会、ゆめ・みらい百人会議観光部会有志、観月会(文化協会)などの地域で活動する団体も議論に参加している。

## 事業概要

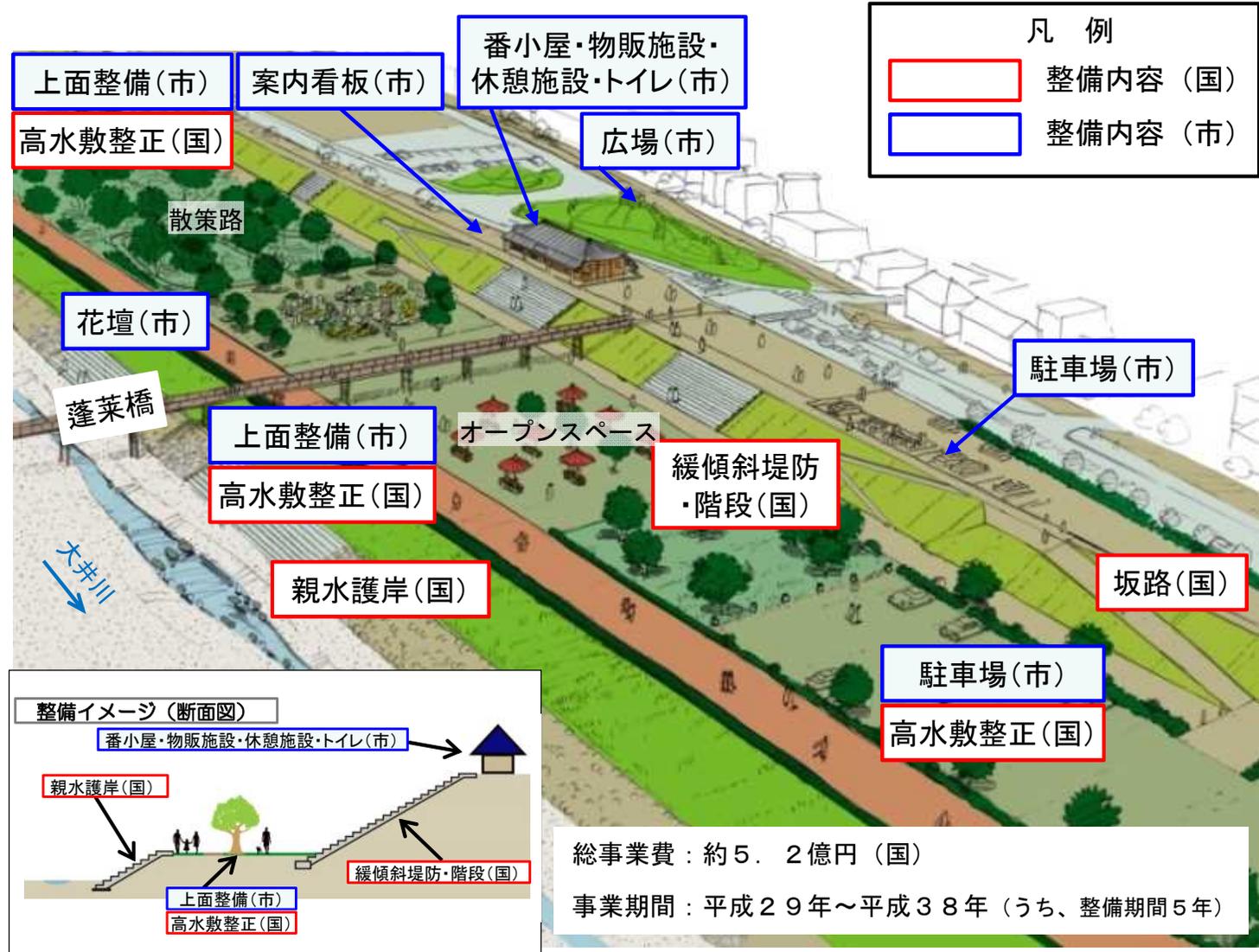
- 島田市宝来地区において、歴史・文化的資源である「蓬莱橋」を中心として、地域と一体となった水辺整備により賑わいのある水辺空間を創出する。
- 整備にあたっては、歴史的景観の保全と調和に十分配慮するとともに、宝来地区「かわまちづくり」計画との整合を図り、河川敷地占用許可準則の緩和規定等を活用した民間事業者等との連携、蓬莱橋周辺と一体となった水辺整備により賑わいのある水辺空間の創出を図る。
- 国が利活用しやすい河川管理施設や高水敷の整備、市が物販施設などの利便施設や高水敷の上面等を整備する。

新規整備

- ①番小屋・物販施設・休憩施設・トイレ(市)**  
来訪者が地元の特産品や観光の記念品の購買や休憩に活用ができる物販施設・休憩施設・トイレなどが一体となった施設を整備する。
- ②広場(市)**  
蓬莱橋と大井川の風景を眺めることのできる展望広場を整備する。
- ③オープンスペース(高水敷改正:国、上面整備:市)**  
イベントやオープンカフェなどに活用できるオープンスペースを整備する。
- ④散策路(高水敷改正:国、上面整備:市)**  
河川敷で水辺の自然を感じながら散策できる散策路を整備する。
- ⑤坂路(国)**  
河川敷との安全なアクセスに活用できる坂路(車両用、歩行者用)を整備する。

既存施設の機能拡充

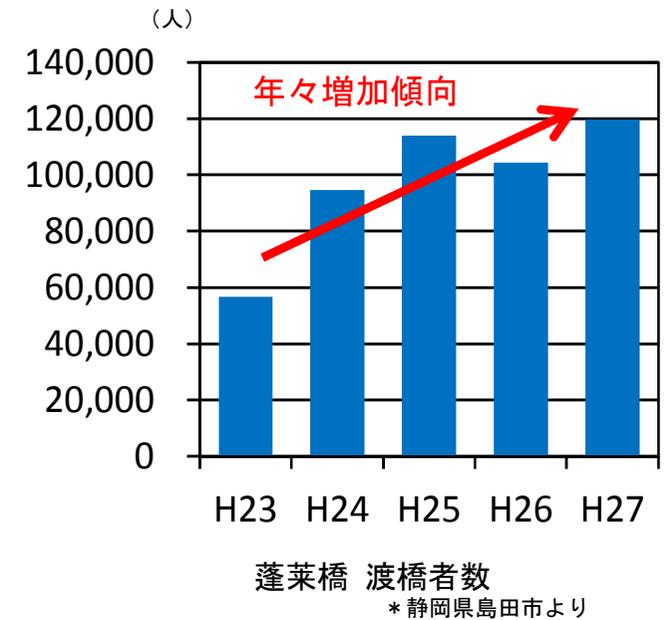
- ①駐車場(高水敷改正:国、駐車場:市)**  
堤防天端及び高水敷に、増加する車両への駐車スペースとして活用できる駐車場を整備する。
- ②案内看板(市)**  
歴史や文化、施設案内などの情報発信に活用できる案内板など(既存物及び新規物)を適切な位置に設置する。
- ③花壇(市)**  
周辺環境とマッチさせ、憩いと安らぎの場として活用できる花壇を整備する。
- ④緩傾斜堤防・階段(国)**  
河川敷との安全なアクセスに活用できる緩傾斜の階段を整備するとともに、河川敷でのイベントなどで観覧スペースとしても活用できる緩傾斜堤防を整備する。
- ⑤親水護岸(国)**  
河川に安全に近づきふれあうことにも活用出来る護岸を整備する。



# 大井川総合水系環境整備事業（宝来地区） 事業の緊急度、関連事業との整合、費用対効果分析

## 事業の緊急度

- 大井川(宝来地区)では、「島田市大井川ミズベリング協議会」を中心として、観光名所である蓬莱橋、川越し遺跡を中心とした水辺利用の促進や、来訪者の充実感向上に向けたハード整備・ソフト整備を早急に進めるために動き出している。
- 当該地区は島田市中心部で、東海道本線・島田駅に近く、市のマスタープランでも「大井川を活かした駅南交流のまち」と位置づけ、大井川の歴史的資源を活かしたまちづくりを推進するとしている。
- 地元島田市の熱意も強く、渡橋者数が急上昇してきた蓬莱橋周辺の整備など、サービス向上が急がれる。



## 関連事業との整合

- 大井川で実施する環境整備事業と関連する事業はない。

## 費用対効果分析

- 費用対効果分析の結果、総費用(C)は6.8億円、総便益(B)は65.0億円、費用対便益費(B/C)は9.5となる。

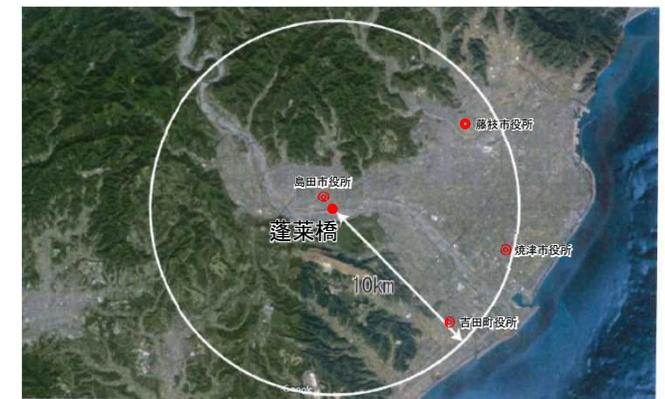
B/C	9.5	総費用(C)	6.8億円	総便益(B)	65.0億円
		建設費	5.6億円	便益	65.0億円
		維持管理費	1.2億円	残存価値	0.03億円

※金額は基準年（H28年）における現在価値化後を記入  
※総費用には市の整備費用（1.5億円）を含む

### ● 便益算定手法

受益範囲	10km, 世帯数; 121,570世帯
便益算定手法	CVM, 有効回答数; 459票
支払意思額(WTP)	307円/世帯/月

※CVM調査には市の整備分を含む



便益算定のための受益範囲（10km）

※事前調査の結果による事業箇所の認知度等から、受益範囲を事業箇所から概ね10kmの範囲を対象とした。